

進路ニュース

2025年度 6月号 No. 317

茨城県立土浦湖北高等学校

進路指導部

《 行事等にも意欲的に取り組もう 》

去る6月13日・14日に「湖北祭」が開催されました。クラス一丸となって、ステージ発表やクラス企画などの準備に奔走し、当日も充実した時間が過ごせたでしょうか。また、文化部や有志の皆さんも日ごろの活動の成果を発揮することができたでしょうか。高校時代の思い出は一生の宝物です。学習はもちろん、部活動や生徒会活動、文化祭やクラスマッチなどの行事にも精一杯取り組み、自己を成長させてください。何事にも主体的に取り組むことで、自分の価値観や適性に気づき、それが進路選択につながることもあります。それが面接での話のネタになることもよくあります。

ただし、湖北祭の楽しい気分をいつまでもひきずってはいけません。今月末には定期考査Ⅱがあります。定期考査Ⅰの結果を振り返り、改めて試験に備えてください。気持ちの切り替えを上手にしましょう。

《 進路決定に向けた活動の目安 》

◎3年生

進路決定に向けてスタートをきっていますか？

就職関係では、公務員試験の申し込みが始まります。また、民間企業の求人票公開を翌月に控え、企業の採用担当の方が湖北高校に訪問することも増えてきます。常にアンテナを高くして確実な情報を入手できるように心がけてください。

進学関係では、総合型選抜のエントリー受付が始まります。模擬試験も毎月実施されるようになります。まだ受験生になり切れていない人は、気持ちを切り替え、志望校への現役合格を目指して今こそスタートを！

◎2年生

学習の量と質の確保はできそうですか？部活動や学校行事に熱心に取り組む一方、学習への意欲が下がりがちな時期です。モチベーションをあげるためには、目標を明確に持つことが大切です。取得したい資格や、どの教科の学力をどのくらい伸ばしたいのかなど、具体的に目標を設定しましょう。そのためにも進路希望をある程度絞ることができているといいですね。志望する職業や学部・学科の研究をすることで目標が立てやすくなります。

◎1年生

初めての定期考査はどうでしたか？定期考査Ⅰに対する取り組みと結果を振り返り、次の考査や模擬試験に備えましょう。得意を伸ばすことはもちろん、高校生活は始まったばかりなので、苦手や弱点があれば克服できるように対策しましょう。苦手科目があるせいで進路選択の可能性が狭まってしまうのはもったいないです。例えば、文系分野とされる仕事にも、統計や経理など、数字を扱うものがたくさんあります。理系分野についても、最新の研究論文は英語で発表されるため、語学力は重要です。少なくとも苦手が増えたり強まったりしないように心がけましょう。

《 6月の進路関係行事 》

- 6日(金) 第4回公務員講座
- 17日(火) 進路ガイダンス(3年)
- 20日(金) 進路学習調査
第5回公務員講座
- 24日(火)～27日(金) 第2回定期考査
- 28日(土) 漢字検定①

《 7月の進路関係行事 》

- 1日(火) 進路ガイダンス(2年)、求人票受付開始
- 4日(金) 第6回公務員講座、求人票公開
- 5日(土) 進研記述模試・看護模試②・
就職公務員模試(3年)
- 7日(月) 進研模試(1・2年)
- 8日(火)～14日(月) 生徒面談週間(45分授業) 土日除く
- 12日(土) 数学検定②・日本語7-プロ検定
- 15日(火)～18日(金) 保護者面談(1～3H/特編授業)
- 17日(木) 進路ガイダンス(1年)
- 23日(水)～28日(月) 夏季課外(1～3年) 土日除く
- 30日(水)～8月1日(金) 夏季課外(3年)



《 K₃H i が始動します 》

湖北高校の新たな取り組みとして、4年制大学への進学を目指す生徒から希望者を募り、進路実現のための指導と学習集団の形成を目的とした「湖北・国公立大・ハイレベル私立大進学研究会」、通称「K₃H i（ケーハイ）」を組織しました。集まったメンバーで、7月26日に宇都宮大学、8月1日に茨城大学のオープンキャンパスに参加します。今後もさまざまな活動を順次計画・案内していきます。

初めての試みが多くなるので、教員サイドも「よりの生徒モチベーションにつながる方法はないか」「より生徒に役立つ情報は何か」などと考えながら運営しています。活動の様子を知って、やはり参加したいと思った人は、ぜひ担任の先生に申し出てください。一緒に湖北高校の新たな歴史を刻みましょう。

《 進路指針が発行されます 》

進路決定までの流れや受験全般、就職・公務員試験に関する情報、各種データ、卒業生の合格体験記などを掲載した「進路指針」が、1・2年生は6月17日、3年生は6月20日に配られます。よく読んで様々な手続きや心構えを知るとともに進路選択、受験方法選択の一助としてください。また、資料の卒業生の合否状況からは、受験や就職の厳しさが見取れます。合格体験記からは、授業の大切さや1日も早く本気で勉強を開始することの大切さが伝わってきます。高校3年間の過ごし方次第で自己の将来が大きく変わります。皆さんも是非参考にしてください。

《 就職希望の皆さんへ 》

昨今は「売り手市場」と呼ばれるほど求人数が増えており、県内だけでも本当にたくさんの企業からの求人がくること予想されます。希望する業種・職種などがあまりにも決まっていないと、ゼロからのスタートになります。今のうちから自分の希望を十分に検討し、7月4日（金）の求人票公開に備えてください。

「売り手市場」とはいえ、企業側は「採用できれば誰でもいい」わけではありません。求める人材がいなければ今年は採用なしという可能性もあります。「企業の求める人材像」に自分になっているか、もしくは、なれるように努力できるかが大切です。また、企業の研究不足や思い込みによるミスマッチのないよう、自分に合った企業や仕事内容をしっかり見極められるようにしてください。

さらに、下記の「就職内定までのスケジュール」をよく見て、就職活動の流れを理解しておいてください。

進路指導室では、参考までに昨年度の求人票を閲覧することができます。求人票の見方にも慣れておくとよいでしょう。

○就職内定までのスケジュール

《求人票公開から就職内定まで》

7月1日～	求人票受付開始	↓	・ 求人票の公開は7月4日（金）からです。 ・ 求人票を見て、興味を持った企業の研究をします。
	企業研究		
	↓		
7月15日 ～18日	三者面談	↓	・ 保護者や担任の先生とも相談して応募する企業を絞り込みます。（会社見学申込書を提出）
7月中旬～ 8月中旬	企業見学		
	↓		
8月20日	校内選考会	↓	・ 就職希望を集約し、企業に推薦する生徒を選考します。 ・ 模擬面接8月27日、28日
	応募		
9月5日～	↓		・ 履歴書に学校から発行される推薦書・調査書を添えて応募書類を提出（郵送）します。
9月16日～	選考試験	↓	・ 面接試験や筆記試験が行われます。 ・ 概ね10日～2週間で採否が決定します。
	内定		